



今夏の節電への取り組みについて

伊藤 豪朗 一般社団法人
日本エレクトロヒートセンター 理事

去る5月18日、国のエネルギー・環境会議において、今夏の全国的な電力需給逼迫への対応として、当社サービス区域など電力の安定供給が可能と見込まれる地域においても7月2日から9月7日の間については、猛暑であった2010年の夏に比べてマイナス5%以上を目標とした節電に取り組むことが決定された。(なお、この目標は、関西電力(株)大飯原子力発電所3・4号機のフル稼働に伴い、7月26日より「数値目標を伴わない節電」に変更された。)

この決定に伴う政府からの節電への協力要請を受けて、当社では、当社サービス区域の多くのお客さまが既に様々な節電に取り組まれていることから、それらの継続を基本に日常生活や経済活動に極力影響を及ぼさない形で一層の節電を達成していただけるよう留意しつつ、節電意識の更なる高揚を図るとともに効果的な節電方法等について積極的な周知に努めた。以下で、その具体的取り組みの一端を紹介する。

約315万世帯にのぼるご家庭のお客さまに対しては、「減らす・ずらす・切り替える」をキーワードとした節電のためのポイントを簡潔にまとめたリーフレットを二度にわたり検針時に全戸配付したほか、エアコンや冷蔵庫の設定温度変更による節電効果をはじめ、電気機器ごとの具体的節電方法の訴求を中心にマス媒体やホームページ等を積極的に活用したPRを行った。

一方、約5万件近い事業用のお客さまに対しては、業種・業態・規模によって効果的な節電方法が異なるため、経済産業省の示す「夏季の節電メニュー」を基本とした業種別の具体的施策等の説明パンフレットを節電のお願い文書とともに郵送するなど、実効性のあるPRとするよう努力した。これに加え、節電効果が相対的に大きい大口のお客さま約28百件については、継続的な個別訪問活動を通じてお客さまの今夏の操業計画や節電への取り組み状況等の実情を把握したうえ、「空調の設定温度変更」・「照明の間引き・消灯」・「デマンドコントローラーの導入」等、多くのお客さまで効果をあげている具体的節電手法を紹介するなどきめ細かな対応に努めた。

また、さらに踏み込んだ節電への取り組みを検討されるお客さまに対しては、お客さま設備におけるエネルギー使用状況を計測調査し、その解析結果に基づいた各設備の運用改善等のご提案やご使用エネルギー全般の効率向上に資する「冷却」・「加熱」・「乾燥」工程等への高効率システム導入・更新支援を行うなど、中長期的な省エネルギー・節電の深堀り・定着化を目的としたソリューションサービス提案活動もあわせて実施している。

ご承知のとおり、今夏も2010年同様の猛暑となったが、多くのお客さまのより一層の節電に向けた積極的なご協力に加え、上述した様々な取り組み等の効果も相まって、当社の今夏の最大電力は、気温影響を除き2010年に比べて5%程度減少し、先に開催された政府の需給検証委員会においても節電意識が定着したことについて高く評価されているところである。

(いとう こうろう) 中国電力株式会社 執行役員 お客さまサービス本部 部長 (エネルギー営業)

このように、お客さまの積極的なご理解とご協力により、全国的にも電力不足に陥るような事態となることなく今夏を乗り切ることができたことについて、改めて御礼申しあげるとともに、関係各位の不断の努力に対し敬意を表する次第である。また、今冬以降も国内の電力需給は依然として厳しい状況が続くものと見込まれることから、当社では、引続き、電力の安定供給に万全を尽していくこととしている。

最後に、日本のエネルギー自給率はわずか4%と低く、限りある資源を将来にわたり継続的に有効利用していくことが求められている。当社では、その切り札ともなる省エネルギー・節電の推進に向けた地域社会のスマート化やエネルギー利用の高度化を今後も積極的に支援していく所存である。